

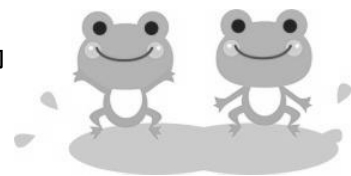
播磨産業技術情報

発行日:2017年6月1日

Vol.248

各種情報

- ・兵庫県立工業技術センター100周年
&兵庫県工業技術振興協議会50周年記念大会 のご案内
- ・国際フロンティア産業メッセ2017出展募集 のご案内
- ・「技術アドバイザー」活用 のご案内



兵庫県立工業技術センター100周年 &兵庫県工業技術振興協議会50周年記念大会 のご案内

1917年に兵庫県工業試験場として創立された兵庫県立工業技術センターは創立100周年、1967年に設立された兵庫県工業技術振興協議会は設立50周年をそれぞれを迎えることとなりました。これまで培ってきた技術力や企業支援のノウハウ、さらに他の産業支援機関等との連携を緊密にし、今後も兵庫県の工業の発展に尽力して参ります。

日時	平成29年6月6日(火)講演会 :14:30~17:00 (受付開始 14:00) 記念祝賀会 :17:15~19:15
場所	講演会 :神戸市産業振興センター(神戸市中央区東川崎町1丁目8-4) 記念祝賀会:ホテルクラウンパレス神戸(神戸市中央区東川崎町1丁目3-5)
内容	テーマ:次世代産業の技術基盤構築を目指して 【基調講演】 「第4次産業革命」の現実と我々がすべきこと (株)インプレス編集主幹 元日経コンピュータ編集長 田口 潤 氏 【特別講演】 「日本の自然災害のリスクと事業継続に向けた企業の心構え」 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授 鎌田 浩毅 氏
参加費	無料(記念祝賀会参加は10,000円)
申込方法	下記WEBページの申し込みフォームよりお申込みいただくか、チラシPDFをダウンロードの上、申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてお申込みください。 詳細はこちら → http://www.hyogo-kg.jp/H29/100th_50th/
問合せ先	兵庫県立工業技術センター 技術企画部技術支援室 TEL:078-731-4033 FAX:078-735-7845

◆◆西日本最大級の産業総合展示会◆◆

会期	平成29年9月7日(木)・8日(金) 10:00~17:00	会場	神戸国際展示場 1・2号館 (神戸ポートアイランド)
展示内容	「成長産業／先端技術として」環境・エネルギー／健康・医療／航空・宇宙／ロボット／ものづくり／IoT・IT／電気・電子／ライフスタイル(食品・住宅など)／地域振興・地場産業／グループ出展／産学連携・支援機関		
出展申込締切日	平成29年6月2日(金)	入場料	無料
実施事業	基調・特別講演、各種セミナー／出展者プレゼンテーション／ビジネスマッチングシステム		
主催	国際フロンティア産業メッセ2017実行委員会 構成団体: 兵庫県、神戸市、(公財)新産業創造研究機構、(公財)ひょうご科学技術協会ほか		
問合せ先	【出展について】 「国際フロンティア産業メッセ2017」事務局 日刊工業新聞社 大阪支社 イベントグループ TEL:06-6946-3384 FAX:06-6946-3389	最新情報はホームページにて http://www.kobemesse.com	

「技術アドバイザー」活用のご案内

ひょうご科学技術協会では、ものづくりに係る知識や経験が豊富な播磨地域の大手企業等のOB技術者を「技術アドバイザー」として登録しています。そのアドバイザーを播磨地域の中小企業へ派遣し、企業が直面する技術的な課題の解決を図っています。是非、ご相談ください。

専門分野と 主な相談内容 (技術課題)	専門分野	主な相談内容(技術課題)
	機械	機械加工技術、機械設計、自動化技術
	金属	金属材料全般、溶接技術、塑性加工技術、表面処理技術
	電気・電子	電気・電子回路・設計、ハード／ソフト技術、電子機器の開発
	化学	有機・無機材料技術、高分子加工技術、ゴム・樹脂の接着技術
	品質管理	品質管理法・生産管理法、ISO関連(認証取得支援)
	食品	食品加工・機能性食品開発
	※ひょうご科学技術協会登録の「技術アドバイザー」が対応できない場合は、必要に応じて、兵庫県立工業技術センター、公益財団法人新産業創造研究機構、NPO法人産業人OBネットとも連携し、「技術アドバイザー」を派遣します。	
対象者	播磨地域に事業所を有する中小企業及び個人事業者	
派遣回数等	1社あたり同一年度内3回まで無料	
問合せ先	(公財)ひょうご科学技術協会 播磨産業技術支援センター TEL:079-287-1212	

【発行】公益財団法人ひょうご科学技術協会
播磨産業技術支援センター

兵庫県姫路市下寺町43 姫路商工会議所本館2階
TEL:079-287-1212 FAX:079-287-1220
URL: <http://www.hyogosta.jp/>

－編集後記－

6月は水無月。雨がたくさん降る時なのに、水の無い月と書くのは、おかしいような…と思ったのですが、「水無月」の“無”は“の”にあたる連体助詞で、「水無月」は水の月ということになります。田植えが済み、田に水を貼る必要があることから、「水無月」と呼ばれるようになったようです。雨が続くどんよりの時季ですが、一つの風情として楽しみたいと思います。

